

学年 第1学年

時間 1時間

題材 「平面構成」の導入として「菅井汲の作品」

P 61～72 菅井汲 星座 ～ 1975年制作 シルクスクリーン版画ほか

題材について

デザインの基礎学習として色の学習と平塗りの練習のために平面構成に取り組んでいる学校は多いと思う。題材は、線で区切った単純な模様や、幾何形、レタリング、マーク、自然物・人工物をもとにした構成などさまざまである。技術的な部分や補色とかグラデーションといった色彩の理論的な指導が中心となるので美術作品の鑑賞と結びつけられることは少ないかもしれない。

広島県立美術館では2004年に菅井汲の作品、224点をご遺族から一括寄贈され収蔵している。菅井汲はフランスを中心に世界的な活動をした現代作家である。マチエールを重視した初期の作品から、手仕事の痕跡を消し去り形と色彩だけで表現された後期の作品は鮮烈な印象を見る者に与える。

収蔵作品による小学校の団体鑑賞会の折りにも菅井汲の作品にまず目をうばわれた児童も多かった。

本授業案で取り上げる作品は県立美術館が以前から所蔵するシルクスクリーンの作品であるが、ポスターカラーを使ってむらなく彩色をする平面構成の表現と菅井汲の表現との共通する部分を感じ、表現活動の導入として授業案を立てた。表現の変遷から菅井汲が作品に込めた思いを考えたり、絵画とデザインの違いなどを考えたりすることも興味深いことと思われるが、表現活動の導入としては単純化された形と鮮やかな色彩の美しさを味わうことを目標とした。

おそらく初めて目にする菅井汲の作品に生徒たちは新鮮な驚きを感じ、表現活動の刺激になることと思われる。また、菅井汲のことを少しでも知って、美術館で大作を目にしたら美術鑑賞の楽しみを感じることができると思う。

指導要領との関連

[第1学年] 2内容 A表現(2)ア、イ B鑑賞 ア、イ

目標

- ・作品の単純化された形と色彩の美しさを味わい、表現活動の動機付けとする。
- ・単純化して表す表現方法を知り、自らの作品に生かす。

学習展開

学習活動(予想される生徒の反応)	学習内容	指導上の留意点
12点の作品の複製図版を見て、一つ一つが何をもとに図案化されたか考えて、ワークシートに記入、発表する。 ・かに ・弓 ・わからない 12点の作品が何をテーマにしているかワークシートに記入して発表する。 ・星座 ・黄道十二宮(ゾディアック)	ゲーム感覚で 3種類の十二宮の絵を混ぜて、もとの組み合わせに分類させ、さらに菅井汲の別の作品を提示して同じ作者のグループを当てさせるということもできる。	絵をじっくり鑑賞して、何がモチーフになっているか考えることができたか。 テーマを考えることができたか。
12の星座を描いた他の絵(写実的に描かれたものと、もとの形を比較的に)	一言に単純化といっても様々な表現があることをおさえる。	作品の形や色の美しさを味わい、感想を書くことができた

<p>く残してデザイン化されたものを2種くらい)と比較して、菅井汲の作品の特徴を考え、感想を書く。 菅井汲の簡単な説明を聞く。 自分が用意したモチーフをもとに平面構成の下描き(アイデアスケッチ)をする。</p>	<p>菅井汲独自の表現があることに気付かせる。 菅井汲の初期から晩年の作品のいくつかを図版を使って鑑賞しながら説明をする。</p>	<p>か。 説明を聞き、理解することができたか。</p>
---	--	---------------------------------------

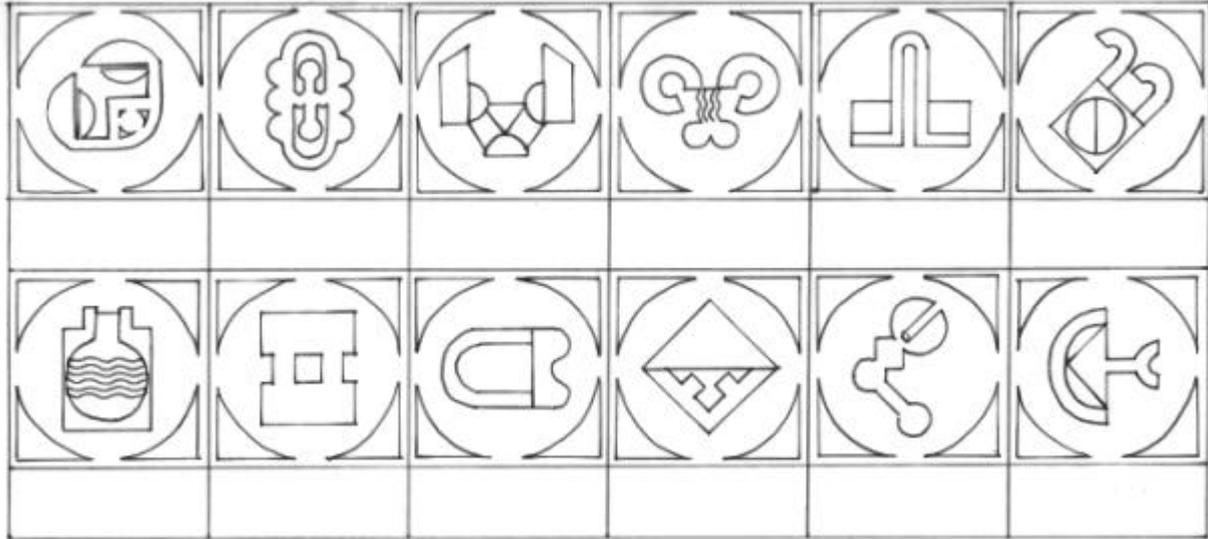
準備物

- ・菅井汲「星座」複製図版
- ・星座を描いた他の作品2種くらい
- ・ワークシート

<p>参考資料 菅井汲特集(県立美術館リーフレット) 広島県立美術館 2004年 疾走するアート 菅井汲コレクション 中国新聞記事 2004年 広島県立美術館所蔵作品図録 広島県立美術館 1990年 広島県立美術館ワークシート「SOLEILU BLEU」「VARIATION」</p>
--

鑑賞ワークシート

下の12の図はそれぞれ何をもとにした形でしょうか。考えて書いてみましょう。



テーマがわかりましたか。考えて書いてみましょう。

--

菅井汲の作品の特徴（形、色）を中心に作品を鑑賞した感想を書きましょう。

--

菅井汲は1919年、神戸市に生まれた。
病気のため中学進学を逸し、大阪美術学校に通う。
阪急電鉄に就職。（ポスター）制作に従事する。
1952年フランスに渡る。デリケートな（マチエール）と独特な色づかいで人気を得る。
すっきりと（記号化）した作風に変化する。
「誰が見ても瞬時に理解でき、（意味）を取り違えることのない絵が最もいい」
「理想は高速道路の（標識）」
数々の国際的なコンクールなどで受賞し、世界的な名声を得る。
1996年、展覧会の準備のため帰国していた日本で亡くなった。
2004年広島県立美術館に224点の作品が寄贈された。

平成 年 月 日（ ）曜日
第3学年 組 番 氏名